PRIMERGY RX100 S8 ご使用上の留意・注意事項

PRIMERGY RX100 S8 に関して、以下の留意・注意事項がございます。製品をご使用になる前にお読みくださいますようお願いいたします。

2017 年 2 月

富士通株式会社

1. UEFI モードについて

UEFI モードの設定方法や OS 及びオプションのサポート状況に関しては、下記リンクをご参照ください。

http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/products/note/

2. Intel TXT 機能について

本装置では Intel TXT 機能（*1）はご使用になれません。

（*1）: Intel TXT 機能（インテル®トラステッド・エクゼキューション・テクノロジー）

3. 主電源の給電から Stand by モードになるまでの時間について

サーバに主電源が供給されてから、Stand by モード(電源投入可能状態)になるまで、約 1 分間時間がかかります。

4. SAS アレイコントローラカードを使用した iRMC S4 Web インターフェースにおける RAID 監視機能について

SAS アレイコントローラカード(PY*SR3C34)を使用した、iRMC S4 Web インターフェースでの RAID 監視機能は、下記の BIOS/iRMC ファームウェア版数でご利用いただけます。

・iRMC ファームウェア版数： 7.16F 以降

5. iSCSI boot について

本装置では、構成により iSCSI boot をご使用になれない場合があります。

iSCSI boot の対応状況については、下記リンクに公開の「システム構成図 ETERNUS 編」をご参照ください。

http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/system/

6. iRMC S4 Web インターフェースによる iRMC 設定の復元について

iRMC S4 Web インターフェースで保存した iRMC 設定情報を、ServerViewAgent の SystemConfigurationUtility で復元することはできません。Web インターフェースで保存した設定情報の復元は Web インターフェースから行ってください。

7. Red Hat Enterprise Linux 6.4 (for Intel64)ご使用時のオンボード VGA の制限について

オンボード VGA およびネイティブドライバを使用している RHEL 6.4(for Intel64)で解像度を 800x600 (24bit)へ設定すると、iRMC のビデオ表示が正常に機能しません。他の解像度に設定してご使用ください。

8. ビデオリダイレクション(AVR)機能ご使用時の制限について

AVR 機能のホットキーメニューの登録可能数は最大 15 項目です。

ホットキーメニューに関連した情報は、下記リンクに公開の「iRMC S4 - Integrated Remote Management Controller」マニュアルにも記載されています。ご使用にあたりましては本書に記載の情報もご参照ください。

http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/products/note/svsdvd/additional-info.html

9. ビデオリダイレクション(Advanced Video Redirection)ご使用時のキーボード入力について

iRMC FW 7.37F / 7.38F をご使用の場合、iRMC S4 Web インターフェースのビデオリダイレクション(AVR)のご使用時に、キーボード入力ができない場合があります。AVR ウィンドウ内にあるメニューバーの「キーボード」メニュー - 「ソフトウェアキーボード」より、ご使用になる言語のソフトキーボード(仮想キーボード)を選択してご使用ください。

※iRMC FW7.41F 以降でこの問題が修正されています。

10. ネットワークカード / システムボード交換に伴う設定情報の再設定について

Windows Server 2008 R2 をご使用の場合、ネットワークカード、またはシステムボードの交換、待機系装置への切替え、他装置へのリストア等を行うと、ネットワークコントローラを新規追加部品と装置が認識するため、ネットワーク関連の設定情報（IP アドレス / Teaming 設定など）が初期化され、再設定が必要となります。

マイクロソフト社の以下の KB(Knowledge Base)を参照の上、事前に Hotfix を適用することで再設定を回避可能ですので、適用をお願い致します。

Windows Server 2008 R2： KB2344941 , KB976042 (SP1 適用時は、再度 Hotfix 適用が必要)
Windows Server 2008 R2(SP1)： KB2550978 , KB976042

※ Hotfix 適用にあたっての注意事項

・Hotfix はマイクロソフト社のサポートページから入手してください。
2014 年 8 月時点では、以下の URL から検索可能です。
http://support.microsoft.com/?ln=en-us

・Hotfix は、OS インストール時に搭載されていた部品情報を有効にするものです。
OS インストール後にシステムボード等を交換していた場合、OS インストール作業時の情報となります。

また、既にネットワーク関連の設定情報が初期化された場合も、Hotfix 適用により回復できる場合がありますので、この場合も適用をお願いします。
なお、Hotfix 適用によって回復しない場合は、ネットワーク関連情報の再設定が必要となります。この際、ハード変更前の LAN コントローラの情報が残っているため、変更前に使用していたネットワーク接続名を設定することができません。以前使用していたネットワーク接続名を使用する必要がある場合は、以下の作業後にネットワーク関連情報を再設定してください。

(1) デバイスマネージャを起動します。
コマンドプロンプトを開き、以下を実行してください。
set devmgr_show_nonpresent_devices=1
start devmgmt.msc
(2) 非表示デバイスを表示可能にします。
デバイス マネージャーで [表示] メニューの [非表示のデバイスの表示] をクリックしてください。
(3) コンピューターに接続されていない LAN コントローラを削除します。
色が薄く表示されている「ネットワークアダプタ」を削除してください。

11. FJBU(サーバ内蔵型バッテリーユニット：オプション)搭載時の制限について

・ホットプラグ(活性挿抜)は未対応です。
実装する場合、および故障時に交換する場合には RX100 S8 の電源を切断した状態で実装してください。

・SVOM からの監視は未対応です。
FJBU 管理ソフトウェアから状態の監視を行ってください。

12. iRMC S4　Web インターフェースの Onboard LAN2 IP アドレスの表示について

iRMC S4 Web インターフェースの[System Information] - [Network Inventory] - [Ethernet Ports]において LAN2 の IPv4/IPv6 アドレスは表示されません。また、ServerViewAgent が起動されていない場合 LAN2 に関する項目が表示されません。

13. 内蔵 DVD-RAM について

内蔵 DVD-RAM(PY*DR121)を搭載し、BIOS設定の[Advanced]メニュー – [SATA Configuration] - [SATA Mode]の設定値が「AHCI」の場合、Red Hat Enterprise Linux 6.4(x86_64)起動時に下記の意図しないエラーメッセージがログされますが、機能的な問題はありません。そのままご使用ください。
なお、BIOS 設定値が「IDE」の場合、下記のエラーメッセージは表示されません。

【エラーメッセージ例】

```
ata5: SATA link up 1.5 Gbps (SStatus 113 SControl 300)
ata5.00: ACPI _SDD failed (AE 0x5)
ata5: SATA link up 1.5 Gbps (SStatus 113 SControl 300)
ata5.00: ACPI _SDD failed (AE 0x5)
ata5.00: ACPI: failed the second time, disabled
ata5.00: ATAPI: TSSTcorp CDDVDW SU-208FB, FT00, max UDMA/100, ATAPI AN
ata5.00: configured for UDMA/100
scsi 4:0:0:0: CD-ROM TSSTcorp CDDVDW SU-208FB FT00 PQ: 0 ANSI: 5
```

14. SR-IOV 機能について

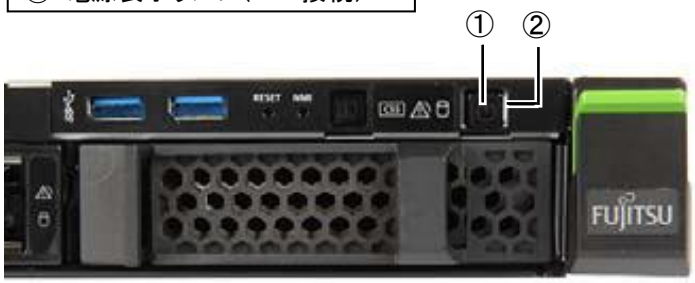
本装置では、Single Root I/O Virtualization（PCI デバイス側で仮想化をサポートする規格）が使用できません。

15. 電源表示ランプについて

iRMC ファームウェアの版数によって、電源ランプの表示が異なります。

iRMC ファームウェア 7.37F 以降より、iRMC 起動準備中（AC 接続状態で、電源が投入可能になるまでの期間）に電源ボタンが点滅する仕様が追加されました。

①：電源ボタン/ 電源表示ランプ
②：電源表示ランプ（AC 接続）



フロントパネル

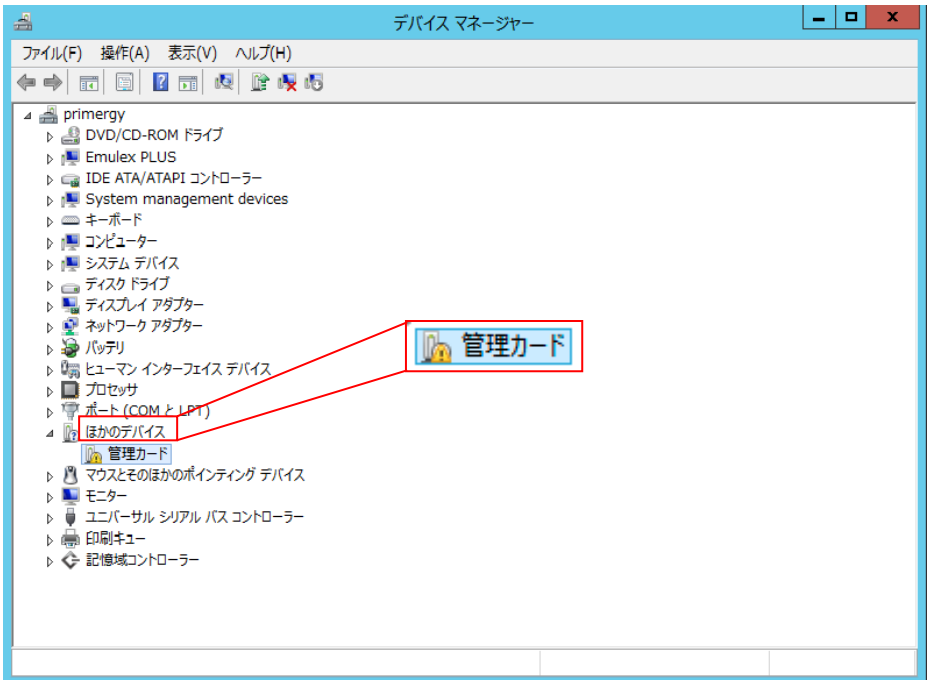
フロントパネル(2.5 インチ HDDx10 モデル用)

表 1：電源表示ランプについて

電源状態	①：電源ボタン/ 電源表示ランプ [緑]	②：電源表示ランプ（AC 接続） [緑]
AC 接続なし	OFF	OFF
iRMC が起動準備中	**[iRMC FW 7.22F 以前の場合]** OFF	ON
	[iRMC FW 7.37F 以降の場合] 点滅(1/2 Hz)	
電源オフ (AC 接続あり)	OFF	ON
パワーオンディレイ	ON	ON
電源オン、システムが通常動作中	ON	OFF

16. iRMC HTI デバイスドライバについて

Windows Server OSをご使用のシステムにおいて、iRMC ファームウェア 7.37F へのアップデート後、デバイス マネージャー上の「管理カード」に、"！"マークが表示される場合があります。



下記の弊社ドライバダウンロードページから最新の PRIMERGY iRMC HTI デバイス ドライバをインストールしてください。

http://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/downloads/

17. リモートマネジメントコントローラアップグレード(PY-RMC41)使用時の注意事項

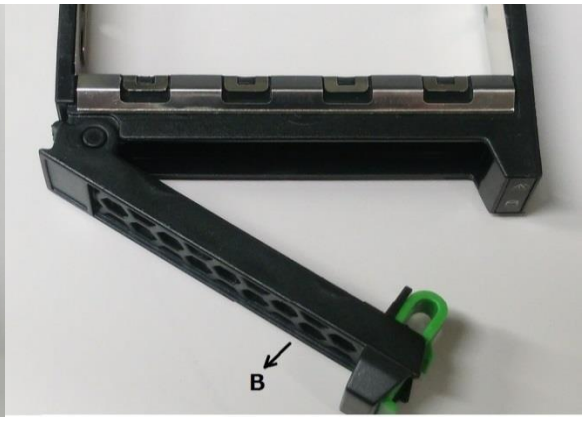
iRMC FW 7.2xF 以前の版数をご使用の場合、2014 年 7 月 1 日以降、一般オプションにてご購入いただいた iRMC アップグレードアクティベーションキーがご使用になれません。

（2014 年 6 月 30 日までにアクティベーションを実施した場合、問題なくご使用頂けます）

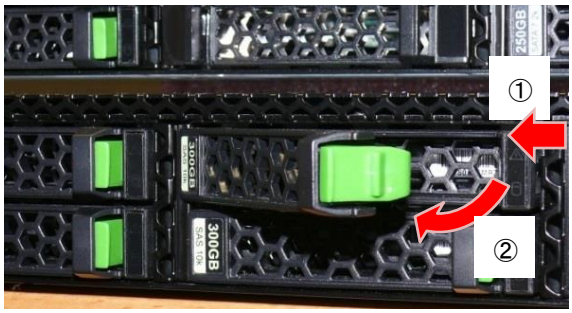
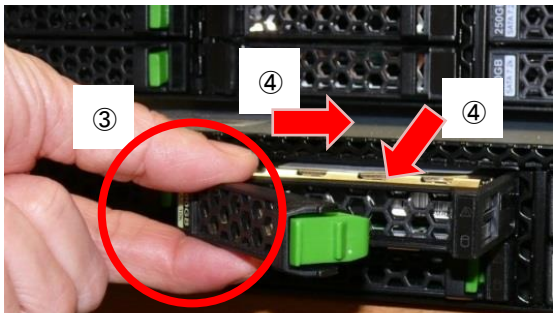
アップグレードアクティベーションキーの適用前に、iRMC FW を 7.38F 以降の版数にアップデートしてください。

18. 2.5 インチ HDD/SSD 取り外し時の留意について

2.5 インチ HDD / SSD を取り外す際に、下図の A の部分のフックがかかっているため抜けづらいことがあります。その際、HDD/SSD トレイへ無理に力を加えると、トレイが破損してしまうことがあります。



取り外しにくい場合は、上右図 B の方向に無理に力を加えるのではなく、下記の手順を参考に取り外してください。

	
①タッチポイントを押して、ロックを解除します。 ②手前にリリースレバーを約 45° 手前に倒します。	③リリースレバーの根元をつまみます。 ④トレイを軽く右方向へスライドしてから、サーバから引き抜きます。

※ トレイをスライドしても引き抜けない場合は、一度 HDD/SSD を元の位置に戻して、手順①から再度実施してください。(HDD/SSD を元の位置に戻した際に、リビルドが自動実行された場合は、リビルドを停止してから、HDD/SSD を引き抜いてください。)

－以上－